

編集後記

『岐阜聖徳学園大学国語国文学』第二十六号をお届けします。

今年から団塊の世代の教員の大量退職が始まり、大都市圏では教員不足が深刻になって、採用もかなり多い状況です。教員志望の学生がほとんどの我が大学にはうれしい傾向ですが、その一方で、教師の質の低下が叫ばれ、教員免許の見直しや現職教員の再教育など、教師へ厳しい目が向けられています。また、学校現場は、子供の学力の低下、不登校、いじめなどの子供の生活の問題など、ますます困難な問題が山積みとなって、教師の指導力が問われています。言葉は社会生活の基盤です。その日本語の教育を担っている国語を専門とする私たちに科せられた責任は、ますます大きくなっていると思います。今後とも研究に実践に精進し、本会誌を通して発表して行きたいと思えます。

(安田 記)

岐阜聖徳学園大学国語国文学 〈第二十六号〉

平成十九年三月十日 印刷

平成十九年三月十五日 発行

編集・発行 〒501-6194 岐阜県岐阜市柳津町高桑西二丁目一番地

岐阜聖徳学園大学
国語国文学会

代表 安田 徳子

印 刷 〒440-0084 愛知県豊橋市下地町字宮腰二四

街 イシグロ 高速印刷

TEL(〇五三三)五四一四九六

FAX(〇五三三)五四二七三六